



定例会のあらまし

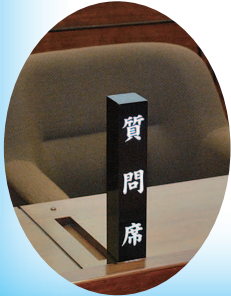
平成26年6月(第2回)定例会を、6月10日から26日までの17日間にわたり開催しました。

この定例会において、専決処分等15議案が提案され、14議案については、全会一致で承認、可決、同意し、改正条例制定の1議案については、賛成多数で可決しました。
また、2件の請願と3件の意見書の審議を行い、請願2件については、全会一致で採択となり、意見書3件のうち、集团的自衛権に関する憲法解釈を変更することに反対する意見書については、賛成少数で否決となりました。

市政の課題 将来の展望を

質す

6月25日(8名)、26日(4名)に計12名が登壇し、豆田市長に対し、市政の課題や将来展望に対する考え方について一般質問を行いました。



駅東踏切周辺の 市道の拡幅を含めた 危険解消改修工事について

藤友俊男 議員



問

駅北地区は昭和44年の区画整理以来、住宅地の整備促進により多くの住宅が建設され、駅東の踏切の利用車両は24時間当たり5,000台、6,000台で、通学路でもあり、歩行者の利用も大変多いが、危険な状態で長年放置されている。大きな事故が発生する前に、早急に危険解消改修工事に着手できないか。

答

危険解消改修工事について、拡幅は困難と考えている。現在、市道塩屋野中線との交差点部の機能向上を図るため、公安委員会に対し、踏切と連動した信号機の設置を要望しており、今後とも、市道小学校大師山線と市道塩屋野中線との交差点部分については、様々な課題を整理し、安全性の向上に努めていく。

● **その他の質問事項**
障がい者就労支援の推進について



危険な駅東踏切周辺

木津地区 林野火災の 対処方法について

竹内友江 議員



問

梅雨、台風シーズンに入り、土石流・落石の恐れがある場合、誰が判断・通報するのか、また避難場所が誰が決定するのか。焼け跡の植林は従来の漫然とした肥料木・元気松などから、将来観光として、映画の撮影場所あるいは山のコマージュなど採用される植林方法は考えられないか。

答

土砂災害が発生する判断については、神戸地方気象台と兵庫県が発表する土砂災害警戒情報をもとに、現地情報などを総合的に判断し、水防本部長が避難勧告等を発令、その後自治会の自主防災組織を通じ連絡する。避難場所の決定は、身の危険を感じたら躊躇することなく、最寄りの公共施設や自らが決めた避難場所へ避難していただきたい。

また、木津の林野火災跡の植林方法は、まず植林の必要があるのか否かを見極め、植林の必要性があると判断した上で検討課題としたい。

● **その他の質問事項**
第111回義士祭について 他



木津地区林野火災